



春日市地域活動指導員だより NO.13

平成15年12月1日

春日市教育委員会 社会教育課

学校開放推進運営委員会による **地域教育力活性化事業** とは？

春日市には、「生涯学習推進のための学校開放事業」を適切に行うため、学校、家庭、地域の代表者からなる「学校開放推進運営委員会」が市内の全小中学校に設置されています。また、この委員会では、学校と地域が連携して地域で子どもを育てる環境を充実するため、「地域教育力活性化事業」を企画し、実施しています。

この「地域教育力活性化事業」には2つのパターンがあります。1つは「地域ふれあいサポート事業」で、地域の人材や団体等が小中学校の正課の授業を応援するものです。もう1つは「地域・学校パートナーシップ事業」で、放課後や休日に、地域の人たちと児童・生徒が一緒に行う奉仕活動や体験活動です。

学校訪問

「地域ふれあいサポート事業」



日の出小学校

「めざせ紙おもちゃ名人」

学校の授業を 地域が応援中



9月24日(水)、日の出小学校1年生の生活科の授業に地域の方10名を指導者に迎え、『めざせ紙飛行機名人』という授業が行われました。これは日の出小学校学校開放推進運営委員会の「地域ふれあいサポート事業」の1つで、この日だけではなく、『めざせ紙おもちゃ名人』という連続10時間の授業に組み込まれているものです。この日の授業は、紙おもちゃの中で特に子どもたちが興味をもった紙飛行機に焦点を当て、どうすれば地域の名人さんたちのように良く飛ぶものが作れるか、子どもたちがいろいろと知恵をしぼってトライしていました。

地域の皆さんのアドバイスのお陰で、子どもたちは、前回よりも工夫した紙飛行機を仕上げる事が出来て、とても満足げでした。体育館のステージから飛行機を飛ばす子どもたちの顔が実に生き生きと輝いていました！



児童にアドバイスをする地域の方たち



春日中学校 グラウンドゴルフ

春日中学校では「地域ふれあいサポート事業」として、今年、1年生（6クラス）の体育の授業に校区の地域の方と交流する『グラウンドゴルフ』を取り入れました。

11月4日（火）から13日（木）の間に、各クラスが3時間の体育の授業を地域のおじいちゃんおばあちゃんたちの指導で楽しみました。

初日の11月4日は、1年生全員と指導にあたる地域のグラウンドゴルフ愛好者の顔合わせが多目的教室で行われました。地域からは、弥生地区が12名、小倉地区が9名、須玖南地区が5名、計26名が参加されました。

顔合わせとオリエンテーション終了後、さっそく2クラスで1回目の授業が行われました。5人の生徒に地域指導者が2人付きプレー開始です。地域の皆さんは毎日の練習の成果か、打った球は真っ直ぐにゴールに向かい、ピタリとつけます。生徒たちも自信ありげに打ちますが、思ったように玉は転がってくれませんでした。しかし、20分ほどプレーしていると、中学生はさすがに勘をつかむのが早く、3回目の授業では地域の方に迫る腕前になるのではと思われるほど上達した生徒もいました。

指導にあられた増田さん（弥生地区の区長）は、「グラウンドゴルフはルールなど小学生や中学生に、とても教育的な効果があるスポーツなんですよ。」と熱く語られていました。

地域の方との交流、そして、学校教育の中で「生涯スポーツ」という視点を生徒たちに持たせる意味でも意義のある活動だと思いました。

↓ 生徒にあいさつをする小倉地区のみなさん



見ときやい、
ここでホールインワンを
出しちゃあけん！





学校訪問 学校・地域パートナーシップ事業

春日野中学校 「かすかの倶楽部」開講



春日野中学校PTAは学校開放推進活動の一つとして10月から「かすかの倶楽部」という土曜サークルを始めました。土曜日の有効活用ということで、特に部活動に入っていない生徒に楽しく打ち込める場を提供したいというねらいがあるそうです。講座は、生徒への事前アンケートをもとに、「パソコン」「料理」「ダンス」「ゴルフ」「美術・手芸」「なんでもボランティア」の6講座です。生徒の参加の状況、地域との連携など、本年度の実践の中で見えてくる課題を次年度の改善点にしていきたいということでした。

ダンス



エアロビクス経験者のお母さんが先生です。ヒップホップなど若者に人気のストリート系ダンスを指導。なかなか本格的でかっこよかったア！

ゴルフ教室



お父さんが基本からきっちりと指導。取材している私が教えてもらいたかったです。



↑ 生徒の昇降口に設置された「かすかの倶楽部」の掲示板。6講座の内容と年間予定が紹介され、申込用紙も置かれていました。

パソコン教室



やはり、パソコンはなかなかの人気です



「こんにちわ！」 地域訪問レポート

松ヶ丘地区 11月1日(土) 地域でイモほり

松ヶ丘地区恒例のさつま芋掘りが今年も行われました。子ども会育成会と松の実会(老人会)の方が一緒に育てた芋の待ちにまった収穫の日です。この日は収穫した芋を使って、地域の高齢者の方に楽しんでいただく「いも煮会」も『ふれあいサロン』(地区の福祉推進委員会主催)として行われました。

芋の栽培を通して土に親しむこと、体を動かして働くことは、子どもたちにとって良い体験です。また、芋が焼けるまでの時間を、小さい子から大きい子まで一緒に大縄跳びで楽しみました。最初は入るタイミングが分からなかった子も、みるみる上手くなっていきます。大人がちょっとしたきっかけを作ってやれば、子どもたちが遊びを通してつながっていくことを感じました。

余談ですが、春日原地区から借りてきた大きな芋焼き機が大活躍。子どもたちはおいしい焼き芋にありつくことができました。



春日公園地区 11/8・9日(土・日) 地区文化祭

春日公園地区では、日頃地区公民館で文化活動をしている地域住民に発表の場を、ということで毎年秋に文化祭が行われています。

展示されている作品を見せていただくと、大人の作品と共に、地域の子どもの作品がたくさん展示されていました。ことに「習字」は力作ぞろいで、その数の多さにもびっくり。

また、公民館のピアノ教室の発表会の写真展示とビデオ放映がされており、子どもたち一人一人を応援する地域の気持ちが伝わってきました。



テレビで流される
ピアノ発表会の演奏
の様子